

平成 29 年 7 月 14 日

九州北部豪雨災害に対する当金庫とお取引先企業による支援について**城南信用金庫**

去る 7 月 5 日から 1 週間に亘って断続的に九州地方を襲った局地的な豪雨により、土砂崩れや川の決壊による土砂災害や水害が発生し、福岡・大分の両県で死者 29 名、行方不明者 20 名超（7 月 13 日現在）の被害者をだすとともに、いまだ千名を超える被災者の方々が、避難生活を余儀なくされております。

当金庫は、地域を守り、地域の人々を幸せにする「社会貢献企業」として、これまでも平成 7 年 1 月の阪神淡路大震災をはじめ、平成 16 年 10 月の新潟県中越地震、平成 23 年 3 月の東日本大震災、平成 25 年 10 月の伊豆大島土石流災害、平成 26 年 8 月の広島土砂災害、平成 27 年 9 月の関東・東北豪雨災害、平成 28 年 4 月の熊本地震等の際に、義援金を拠出しており、**今回発生した九州北部豪雨災害に対しても、被災者の方々の救援や被災地の復興に役立てていただくため、1,000 万円の義援金と見舞品（フリーズドライ災害備蓄用米 1,000 個、飲料水）を寄贈致します。**

また、東京都品川区西五反田に本社のある中小企業で、衛生用品の製造販売会社であるハッソー株式会社（代表取締役：山田 菊夫）は、昨年の熊本地震に続き、**同社の特製の「紙パンツ」5,000 枚を日田信用金庫（大分県）と筑後信用金庫（福岡県）を通じて提供することとされました。**

この「紙パンツ」は、男性・女性、若者からお年寄りまで使用でき、しかもパッドを取りかえるだけで、何度も使えるものであり、被災者の皆様のため提供されました。

今回、地域の人々を守る金融機関である全国の信用金庫のネットワークを活用し、**18 日（火）に当金庫の渡辺理事長が直接両金庫を訪問して、見舞品と「紙パンツ」の目録をお届けすることとなりました。**今後も、こうした全国各地の志ある中小企業の方々を信用金庫のネットワークを活用しながら応援してまいりたいと思います。



<ハッソー株式会社が寄贈する「紙パンツ」>



<見舞品として寄贈するフリーズドライ災害備蓄用米>

（問合せ先：城南信用金庫企画部 03-3493-8133 担当：笠原）